

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

西日本豪雨災害は「他人事」ではない 市内の土砂災害警戒区域を視察

7月17日、日本共産党のすやま初美参院愛知選挙区予定候補は、豊田市内の土砂災害の対策を現地視察しました。大村・根本両市議と本多のぶひろ市議選予定候補が案内しながら土砂災害対策の現状を把握しました。

松平支所を訪れて、支所長と懇談。地域では、自治区単位で土砂災害の危険箇所を地元のみならず、人が出し合ってマップをつくり、「地域提案事業」で市に対策を求

める活動を始めていると説明がありました。

懇談後、支所長の案内で、支所付近の「がけ崩れ」の対策工事を行っている箇所を視察しました。崖に張り付くようにして家屋が並ぶ街並みが50メートル近く続いています。その崖は、かつての基準でがけ崩れの対策が行われたのですが、現在の基準で工事をやり直す必要があるという事で、実施していません。たしかに、現地を視察すると、西日本豪雨災害のような事態になれば、裏の崖が突然崩れて家屋が埋まってしまいそうな危険を感じました。



松平支所付近の対策工事の現場を視察

6月市議会でも、根本みはる市議が一般質問で明らかにしたのは、このような対策が必要な土砂災害の特別警戒区域が市内に4438カ所もあるという事でした。しかも、このような土砂崩れの対策の整備計画は変わらないまま、多くの危険な箇所が未対策のままになっているという事です。前倒しで、対策をすすめる事が本当に必要です。

すやま参院予定候補、トヨタ本社前で宣伝



17日、日本共産党のすやま初美参院愛知選挙区予定候補は、トヨタ本社前で、退勤する労働者に日本共産党の政策を語りかけ、安倍政権が強行した「高度プロフェッショナル制度」を廃止しようと訴えました。大村よしのり市議、本多のぶひろ市議選予定候補が同行しました。



松平中学校付近の砂防ダムを視察

8月6日、9日のヒロシマ・ナガサキに向けて

被爆者が呼びかける署名活動を行います

8月7日 (火)

午後5時～6時

松坂屋前デッキ

主催：豊田地域原水協



今年の原水爆禁止世界大会には、豊田地域から4名の代表が参加を予定しています。大村よしのり市議は、8月2日の国際会議から9日の長崎集會まで参加して、各国の代表と懇談する予定です。



7月8日、豊田地域原水協が「ピースウェーブ七夕アクション」を取り組みました。署名とともに、七夕の短冊に願いを書いて笹のイラストに貼り付ける活動を行いました。

現地視察では、松平中学校近くの砂防ダムも訪れました。驚くべきことに、この砂防ダムのすぐ下が、ついこの間まで松平こども園があった場所です。現在、別の場所に移転しましたが、西日本豪雨災害では、広島県坂町で、土砂をせき止めるための砂防ダムが決壊して、甚大な被害となりました。

現地の視察を行って、改めて土砂災害の対策が急務だと痛感させられました。行政は、特別警戒区域の場所を詳細に把握はしています。必要なのは、その対策を行うべき予算をきちんと確保する事です。中心は、県の事業になるので、県にしっかりと要求をあげる事を確認しあいました。

図書館化
市民図書

客観性・透明性を確保した図書館評価を
豊田市の図書館を考える市民の会が陳情書

豊田市6月市議会で「豊田市の図書館を考える市民の会」から「客観性・透明性を確保した豊田市中央図書館の評価制度を求める陳情書」が提出されました。

中央図書館は2017年4月から、市直営から指定管理者制度に変わりました。しかし、そもそも指定管理に変わることを前提として2016年9月の条例改訂の前に事業者の公募まで行われており、

日本共産党市議団は「法の抜け道を行く脱法行為。議会を軽視するもの」として指定管理の白紙撤回を求めています。また、図書館管理課の業務の在り方、図書館サービスマス向上計画の報告書など、様々な問題点を指摘しました。

提出された陳情書では、豊田市が行う指定管理の報告と評価に対する疑問や、指定管理者制度の下で労働条件などは開示請求では知ることができないこと。他市では、指定管理で運営されている図書館スタッフの離職率は高く、司書の専門性を高められないという問題が起きていること

から、第三者による図書館評価と、評価結果の公表を求めました。

陳情書について、委員会では諸派の岡田委員が、可能な限り対応すべきとの意見を述べる一方、自民クラブと市民フォーラムの委員は「評価体制は十分である」「開館時間の延長などサービスマス向上した」として、不同意の意見を述べました。

客観的な評価と市民への公表を避けて、どうして正しい検証ができるのか大変疑問です。

西日本豪雨災害への募金開始

日本共産党として豪雨災害被災地への募金活動を始めました。

共産党豊田市議団の駅頭宣伝でも募金のご協力を呼びかけ(下写真)、梅坪駅や豊田市駅、三河八橋駅で協力いただきました。お預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金とは区別し、その全額を被災者の救援に充てます。

募金活動の詳細やボランティア活動については党HPのhttps://www.jcp.or.jp/web_info/201807gouu.htmlをご覧ください。



市民運動交流のつどい報告

革新市政をめざす「住みよよい豊田を創る会」が15日に市内で、第3回市民運動交流のつどいを開催しました。(下写真)

共同代表の大村よしのり市議が開会あいさつ、根本みはる市議が名鉄バス路線の廃止問題と市民運動などについて報告。他にも地域医療や公営住宅、教育や保育、平和や環境などについて市民運動の取り組みが報告されました。



「花火をみる会」にお越しください

日本共産党の豊田市後援会が、おいでんまつり「花火を見る会」を開催します。ご家族連れで気軽に参加してください。(駐車場がありません。名鉄豊田市駅か梅坪駅から徒歩15分)

日時 7月29日(日)

午後6時30分から

場所 日本共産党豊田市委員会事務所駐車場

(日之出町1-6-6)

会費 600円(弁当、おにぎり、焼きそば、スイカ等)

(アルコール代は実費)

連絡先 34-4772



昨年の、花火を見る会

豊田のこども園を考える会
世話人会

7月21日(土) 午後3時30分~5時
崇化館交流館第4会議室



「教科道徳」について

8月4日(土) 午前9時30分~
崇化館交流館 第1会議室

主催:豊田市の教育環境を考える会